

寺井雄二議員

「地域交流プラザ」に親しみのある名称を

問 仮称「地域交流プラザ」の名称は、どのようにして決定されるのか。

答 広く市民の皆様からの公募により、平成19年度中には決定したい。

生活に密着した和口橋
河川改修による影響は

問 太田川にかかる和口橋は、



河川改修による影響が心配される「和口橋」

河川改修に伴い、どのようになるのか。

答 県による太田川河口から二瀬橋までの河川改修が実施されている。本事業は、平成21年度に和口橋付近の施工が予想されるため、橋の管理者である磐田市では、現在の和口橋を落橋させず、そのまま残し、今の機能を確保するように要望している。本市としても、現在の橋の機能を残すよう、磐田市と協議をしたい。

水道料金改定には懇話会の設置が必要では

問 合併後の一市二制度の水
道料金の見直しは、どのよ
うにされるのか。

答 水道料金を一元化するた
めには、広く意見を求める
ことが大切である。今後、
懇話会を設置したい。

高橋美博議員

子育て支援上、市内医療
の現状をどうとらえるか

問 市外で大多数がお産せざるを得ない、深夜の小児救急も市外の病院に頼らざるを得ない事態をどうとらえているか。

答 市民病院で産科と小児科が、入院できる体制にないことを、大変申しわけなく思っている。深夜の小児救急は、近隣自治体病院と連携を図るなどしている。全



3歳児検診の様子

力で医師確保に努めたい。

小学校卒業まで乳幼児医療費の助成ができないか

問 乳幼児医療費助成の対象を小学校卒業まで拡充できないか。

答 乳幼児の医療費助成は、経済的負担軽減の効果的な施策のひとつ。対象年齢の引き上げも含め、いろいろな方法を検討したい。

無料の妊婦健康診査の
回数を増やせないか

問 現在2回の妊婦健康診査
公費負担の拡大はできない
か。

答 現在県でも、国の方針を
もとに、各市町の意向と対
応を取りまとめている。国
や県の意向を見ながら、あ
るべき姿を検討したい。